

(書式 1 - 1 - 9 - 1 0)

受遺者が死亡した場合を想定する補充遺贈の遺言書

遺 言 書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第 1 条 遺言者は、その有する次の財産を、弟〇〇〇〇（昭和〇〇年〇〇月〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号）に遺贈する。

- 1 〇〇商事株式会社の株式 2 千株
- 2 〇〇工業株式会社の株式 3 千株

第 2 条 遺言者は、受遺者が遺贈の効力発生前に死亡したときは、その長男〇〇〇〇（昭和〇〇年〇〇月〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番〇〇号）に前条の財産を遺贈する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者 〇 〇 〇 〇 印

## 解説

受遺者が遺言者の死亡以前に死亡し、遺贈が効力を生じない場合（民法第994条第1項）を想定して、遺言者が予備的に行うのが補充遺贈である。

第2順位の受遺者の指定は、第1順位の受遺者の相続人に限らないし、2人以上の者を指定することもできる。

